

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	plus+ days 堺校		
○保護者評価実施期間	202510/14		～ 2025年10月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2025年10月14日		～ 2025年10月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習室・運動部屋等、比較的広く、必ず部屋にスタッフ1名配置。 また、部屋のつくりが多数の部屋を見渡せるようになってるので安全確保がしやすいと感じる。	活動内容によっては、可動式の仕切りを外すことでスペースを広くとりのびのびと活動が出来る。  スペースを広くとれる事により、同じPlusdaysの他校との交流を年に数回行うことができています。	今までは、同じPlusdaysの子どもたちとの交流ばかりだったので、今後は地域の方々や、他事業所の子どもたちとの交流をしたいと思う。
2	Plusdaysは、現在全国で6校あり、(関西4校、関東3校)今年度新たに1校開校した。 校舎を増やすことで、各校舎で情報共有できている。	校舎が増え、職員も増えたので定期的に研修会を開催している。 職員の中には、学校の教員経験がある職員や保育士経験がある職員もいるため、学習支援充実のための研修や教育的観点や保育的観点等様々な視点からの支援を考えることができています。	今後は、各校舎が共通してつかえる教材の開発等を行い、職員のスキルアップをする事で、さらに質のいい療育の提供を目指していきたい。
3	児発児童に関しては、児童数に対し比較的職員数が多く配置している。保育士経験が長い職員や、現在ピアノ講師をされている職員など、それぞれが得意な事を支援に活かしています。	児発児童へは、モンテッソーリ療育を取り入れ始めている。 資格がある職員はいないが、モンテッソーリの先生に来ていただき、研修を行っている。	今後、モンテッソーリを本格的に始めたいので研修等増やし、全職員が対応出来るようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	Plusdays堺校では、保育所等訪問を行っておらず、学校や保育園との連携に難しさを感じています。 その為、しっかり情報共有が出来ていない児童もいるので改善が必要と感じている。	利用児について、各関係機関や保護者様と情報共有する機会を増やす必要がある。 ただ、働いている保護者も多く、なかなか学校・家庭・他事業所等の連携が出来ていない状況。	今後、保育所等訪問事業も検討したい。 まずは、各家庭に相談支援員さんをつけてもらう事で連携がとりやすくなる感じている。
2	パートタイムで勤務の方は、勤務の時間や形態にばらつきがあるためまとまって研修をする時間等が確保しにくいのが現状。	時間の確保が難しいことが要因。	研修日程を早い段階から決めて周知しておき、できるだけ全員に参加してもらえるようにしたり、動画等で参加できない職員も研修の内容を確認できるようにする等の工夫が必要。
3			